

仲町町会

私達の町には鎌倉街道が通っていて、街道を挟んで町ができています。街道沿いには、「轡神社」があります。由来は、その昔この地を訪れた徳川家康の乗馬のくつわを祀ったからとも、また馬蹄を祀ったからともいわれています。

また、私達の地域は、その昔「旧山中村」と呼ばれていました。いまでも、中板橋駅前には、山中稻荷神社があり、石神井川には山中橋があります。その後、制度が変わり「板橋九丁目」となり、昭和29年には、旧山中村の「中」に、にんべんをつけて「仲」となり、現在の仲町の名前となりました。

役員一同は、仲良く住み良い町づくりのため、活発にボランティア活動をしています。

また、行政に対する協力をはじめ、恒例の「夏のフェスティバル」や「餅つき大会」など、様々な行事を行い、町会の方を始め、近隣の人々に好評を得ています。

これからも親睦を密にして、互いに協力し、誰もが安心して住める明るい町づくりを進めてまいります。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています

仲町地区桜まつり
での模擬店



秋の祭礼

